

2024年度 実施概要

本年度は、これまでの行政や企業との関係性を活かして高校生等と連携してより地域に根差した取材動画制作や放送を行った。特に海と日本プロジェクトのプレゼンス向上のために、地元教育機関や各地域の行政と連携した「やまがた海洋塾2024～庄内浜の食文化を未来へ～」をメインに実施。海洋環境の変化をより身近な「食」の問題から考えるプログラムを制作、実施した。また、新しい取り組みとして山形大学大学院の海洋教育を専攻している生徒に参加いただき、次年度はこの生徒と連携した海洋教育プログラムの制作を予定している。

オリジナル体験学習イベント

やまがた海洋塾2024～庄内浜の食文化を未来へ～

昨年度実施時のフィードバックから、県内の5年生が学ぶ社会科の授業（環境や食・水産業）では、地元の海を学ぶ機会がなく、海がどんなものなのか、どのような現状なのか知らず、海に行ったことがない、魚を食べないという児童が多数いるという意見が目立った。そんな小学生たちに山形の海について包括的に学びと体験を提供し、これからの海と食文化について考え方アクションを起こしていくよう8/3・8/8に山形県鶴岡市、酒田市で実施。7月末の大震災により急遽プログラム変更等があったが、応募者はラジオ放送等新たな取り組み等により昨年度より応募人数が増加し、121名となった。イベントでは1日目に海洋環境の変化による魚種交代やそれに伴う食文化の変化、未利用魚等のこれからの食文化について、山形県水産試験場、栽培漁業センターの方の講義、稚魚放流体験や加茂水産高校生と連携した海体験等を通して学習。2日目は沿岸地域の食文化を形成した北前船の歴史等を鳥海丸に乗船して航路を巡り、体験を通して学んだ。これらの学びをまとめあげ、「学びの共有」として発表。学びの成果の拡散施策として鶴岡市の滝川蒲鉾店と連携し、ECサイト等を通じて12月～オリジナルの詰め合わせ商品として販売予定。



WEB運営

24年11月11日時点
ニュースサイトPV数 83,300PV、
ニュースサイト記事数 70記事達成。
その他、自主的なSNS運営としてX、
Instagram、Facebookを運営し、
情報発信に努めた。

海の取材動画

県内想定視聴者
700,000人に向け、海に関するニュース
やプロジェクト本体の活動、一般助成事業の活動を計22本放送。
(24年11月11日時点)

プロジェクト訴求動画

プロジェクト本体の
山場に合わせた連携広報として、海ごみ
ゼロウィーク訴求動画、海とごちそうワー
ク訴求動画、海と灯台ティーク訴求動画
を各15秒計200本放送（想定）
(※ごちそうティーク放送中のため)。

これまでの課題と今後の展望

課題 1

山形県民の子どもたちが地元の海を
学ぶ機会・体験する機会が少ないと
こと

課題 2

海洋環境の変化によって魚種変更が起
こり、新しく獲れる魚の活用方法や食文化
が確立されていないこと

課題 3

2024年7月の豪雨災害の影響か
ら山形県内の海離れが加速している



教育機関と連携した海洋教育的な視点を
含んだ山形の海を学ぶ海洋体験プログラム
の実施、海の学びの映像を展開



次世代を担う高校生等との連携に
よる食文化の変化の認知拡大



企業や行政と連携した海でのイベント強化に
よる海水浴場の活性化と来場者数の増加